

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）】

保健学研究科（博士後期課程）では、人材養成の観点に立った本研究科の教育目標に沿って定めた学位授与の方針（ディプロマポリシー）を修得した者に対して、学位（保健学）を授与します。

【看護学領域】

1. 知識・理解の修得
 - ・看護学領域に関する高度な知識と技術の体系化
 - ・看護学領域における教育方法・研究方法に関する知識と技術
 - ・保健・医療・福祉分野における倫理およびマネジメントに関する知識と技術
 - ・関連する他領域との連携に必要な基礎的知識と技術
2. 当該分野固有の能力の修得
 - ・看護学領域における独創的・学際的な研究を自律的に実践し、その成果を社会に還元し国際的に発信する能力
 - ・看護学領域における高度専門職業人に対して、教育・研究指導を実践する能力
 - ・看護学・保健学の“エビデンス”に基づいた高度な医療実践を行う能力
 - ・解決すべき課題を先見性的に見出し、倫理的・科学的に分析し、創造的に解決する能力
 - ・保健・医療・福祉の他職種と協働し、医療チームの指導的役割を果たす能力
3. 汎用的能力の修得
 - ・看護学領域の教育・研究者として自律的に活動し、社会的責務を果たす能力
 - ・高度専門職業人として必要なコミュニケーションスキルや論理的思考能力
 - ・看護学領域における研究成果をととして、看護学・保健学の学問的基盤の確立と発展に寄与する能力

【放射線技術科学領域】

1. 知識・理解の習得
 - ・放射線技術科学領域に関する高度な知識と技術の体系化
 - ・放射線技術科学領域における教育方法・研究方法に関する知識と技術
 - ・保健・医療・福祉分野における倫理およびマネジメントに関する知識と技術
 - ・関連する他領域との連携に必要な基礎的知識と技術
2. 当該分野固有の能力の修得
 - ・放射線技術科学領域における独創的・学際的な研究を自律的に実践し、その成果を社会に還元し国際的に発信する能力
 - ・放射線技術科学領域における高度専門職業人に対して、教育・研究指導を実践する能力
 - ・科学的根拠に基づいた保健学を实践・発展させてゆく上で不可欠な、未解明の“エビデンス”を探究・蓄積できる能力
 - ・エビデンスの探究に向け、学際的連携や多専門職による職種を越えた協働・研究を展開し、自らの専門性を深化・発展させる能力
3. 汎用的能力の修得
 - ・放射線技術科学領域の教育・研究者として自律的に活動し、社会的責務を果たす能力
 - ・高度専門職業人として必要なコミュニケーションスキルや論理的思考能力
 - ・放射線技術科学領域における研究成果をととして、人間の“生命活動”に係わる生体情報や生体機能について、科学的解析手法を駆使してエビデンスを追究し、放射線技術科学・保健学の学問的基盤の確立と発展に寄与する能力

【生体検査科学領域】

1. 知識・理解

- ・生体検査科学領域における教育・研究者として必要な高度専門知識
- ・生体検査科学領域における国際的スタンダードとなっている知識や技術
- ・学際的な研究に対応できる知識や技術

2. 当該分野固有の能力

- ・種々の研究成果について客観的かつ批判的に評価できる能力
- ・生体検査科学領域における教育・研究を指導できる能力
- ・科学的根拠に基づいた保健学を実践・発展させていく上で不可欠な、未解明の“エビデンス”を探究・蓄積できる能力
- ・“エビデンス”の探究に向けて、学際的連携や多専門職による職種を越えた協働
- ・研究を展開し、自らの専門性を深化・発展させる能力

3. 汎用的能力

- ・自立した教育・研究者として社会に貢献できる能力
- ・英語によるコミュニケーション能力を涵養し、国外研究者と討論できる能力
- ・高い倫理観と強い責任感を有する生命科学者として、研究成果を国際的に発信できる能力

【総合リハビリテーション科学領域】

1. 知識・理解

- ・リハビリテーション科学領域に関する高度な知識と技術の体系化
- ・リハビリテーション科学領域における教育方法・研究方法に関する知識と技術
- ・保健・医療・福祉分野における倫理およびマネジメントに関する知識と技術
- ・関連する他領域との連携に必要な基礎的知識

2. 当該分野固有の能力

- ・リハビリテーション科学領域における独創的・学際的な研究を自律的に実践し、その成果を社会に還元し国際的に発信する能力
- ・リハビリテーション科学領域における高度専門職業人に対して、教育・研究指導を実践する能力
- ・リハビリテーション科学の“エビデンス”に基づいた高度な医療実践を行う能力
- ・解決すべき課題を先見性的に見出し、倫理的・科学的に分析し、創造的に解決する
- ・保健・医療・福祉の他職種と協働し、医療チームの指導的役割を果たす能力

3. 汎用的能力

- ・リハビリテーション科学領域の教育・研究者として自律的に活動し、社会的責務を果たす能力
- ・高度専門職業人として必要なコミュニケーションスキルや論理的思考力を持ち、プレゼンテーション能力
- ・リハビリテーション科学領域における研究成果をとおして、保健学の学問的基盤の確立と発展に寄与するための技術と能力